平成31年度香川大学入学式　学長告辞

本日、香川大学に入学された 1,321 名の皆さん、誠におめでとうございます。そして、数ある大学の中から香川大学を選んでくれたこと、大変うれしく思います。また、皆さんを今日まで支えて来られたご家族や関係者の皆様に心よりお祝いと感謝を申し上げます。列席の本学役員、副学長、学部長および教職員とともに、皆さんを心から歓迎します。

本年は香川大学が設立されてちょうど70年の記念すべき年にあたります。さらに、日本はまもなく平成を終えて令和元年として心新たにスタートします。記念すべき日本の新たな門出の年であるとともに、70 周年を迎えた香川大学に入学されたこと、入学生の皆さんはもちろん、ご家族やお迎えする我々大学関係者にとりましても忘れられない入学式となりました。

さて、本日の晴れの日を迎えられた新入生の皆さんは、今回の入学式の会場に 1 時間ほど前に入り、他学部に入学した同じ香川大学の仲間同士で自己紹介をし、将来の夢などを語り合ったと思います。また、在学生の先輩達からの学歌の説明や、歌の練習などをされたと聞いています。香川大学の入学式を在校生がプロデュースするこのような形式は昨年から始めたものです。事前オリエンテーションの中での自己紹介や未来宣言をとおして、今日から香川大学という学問共同体の一員になったのだ

と自覚してくれたのではないかと思います。

今、共同体という言葉を使いましたが、英語では community といいます。本日入学された皆さんにはこの community という言葉をぜひ強く意識してこれからの学生生活を送っていってほしいと思います。香川大学というコミュニティの一員になったということ、それはどういうことを意味するのでしょうか。まずは、皆さんの一挙手一投足が良きにつけ悪しきにつけ香川大学のコミュニティ全体の評判として大学の外側から見つめられるということを意識して欲しいと思います。本学の学生の行動や活動が素晴らしいと評価された時、我々教員や職員は理屈抜きにうれしく誇らしく感じます。逆に皆さんの指導をしてくれる先生方の素晴らしい研究などが社会から評価される時、学生の皆さんもきっと誇らしい気持ちになることでしょう。皆さんは今日から香川大学というコミュニティの一員です。所属していることがうれしい、誇らしい、そのような香川大学というコミュニティを一緒に創って行きましょう。

もう少し、コミュニティの話をします。大学生となり、各学部の中でもそれぞれの学びのグループに所属することになるでしょう。また、部活動やサークル活動を開始される方も多いと思います。これらは大小の違いこそあれ全てコミュニティと言えます。人間は可能な範囲で多くのコミュニティに所属するほど豊かな人生が送れると言われています。どしどしと積極的に色々なコミュニティに参加して、皆さんに求められる

役割を果たしながら様々な人たちとの出会いを楽しんでください。人との出会い、語らいの中から人は成長していくものです。大学も日々変化し成長しています。皆さんも香川大学というコミュニティの一員として、大学とともに一緒に成長していきましょう。

さて、もう一つ皆さんにお話しておきたいことがあります。人工知能についてです。6 学部の新入生が集っていますが、どの学部に入った学生にも共通して、人工知能がこれから我々とどのように関わっていくかを強く意識しておいて欲しいと思います。囲碁や将棋の世界ではすでに人工知能が名人クラスのプロ棋士に勝ってしまうという出来事が報道されるようになりました。これらの人工知能はある限られた能力に限定した、いわゆる特化型と言われる人工知能です。特化型の人工知能がある程度人間の現在やっている仕事を肩代わりする時代は目の前に来ていると言えます。一方、汎用型と呼ばれる人工知能の開発も数年前より始まっています。こちらは、人間と同じような知的な振る舞いを一通りこなすことのできる人工知能です。こちらの研究も急ピッチに進んでおり、今から 10 年後くらいにはある程度の汎用人工知能が出来るのではないかと予想されてもいます。私が本日の入学式で皆さんにお伝えしたいのは、人工知能が人々の生活の中で様々に活用される時代に皆さんは社会の中核となって働くようになっているだろうということです。その中で人としての優位性を保つためには、どうすれば良いでしょうか。人でなければ

出来ないスキルを身につけるだけでは不十分かもしれません。もっと強く意識しないといけないのは、人工知能には超えられない理性や知性を身につけることであり、人間の持つ多種多様な感性を共有し理解する心を磨くことの重要性であります。人工知能とうまく共存するためには、逆に人間とはどういう存在価値があるのか、すなわち人間本来のアイデンティティを知る必要があります。そのために香川大学では本年から副専攻プログラムであるネクストプログラムの 1 つに「ヒューマニティーズ」という新しいプログラムを開始します。このプログラムでは倫理学や哲学、歴史学など人間が長い歴史の中で築いてきた人文学を全学部の新入生に深く学べるように設計しています。

ネクストプログラムにはこのほかにも防災士養成プログラムやグローバル人材育成プログラムも用意しています。それぞれの学部での勉強は忙しいとは思いますが、ちょっと頑張ってプラスアルファの学びにチャレンジすることで、皆さんの大学生活がさらに充実したものになると思います。このプラスアルファの努力が人工知能全盛の時代になっても揺るぎない人間としての価値に磨きをかけてくれるでしょう。ネクストプログラムで優秀な成績を収めた学生にも卒業式で成績優秀者の学長表彰をします。ぜひ、プラスアルファの学びにチャレンジして学長表彰を勝ち取ってください。

最後に、皆さんへの私からの今日の祝辞をまとめます。様々なコミュ

ニティに積極的に参加して、人と人のつながりの大切さを学んで欲しいこと、人工知能には真似の出来ない感性、知性、理性を身につけて欲しいこと、この 2 つを皆さんに期待して学長としての祝辞とします。本日はおめでとうございました。

平成 31 年 4 月 3 日

香川大学長　　筧　善行